

藤原 美佐子

2013年
初夏
つつじ号

113-0024 文京区西片 2-8-24 Tel/Fax03-38111-0980

Email info@m-fujiwara.net

区議会市民の広場控え室 Tel/Fax03-3816-2629

URL <http://m-fujiwara.net/> <http://www.facebook.com/misako.fujiwara.12>

レポート NO.9

1期目の半分が終わり、市民の広場・文京として2年間のまとめ「市民の広場・文京通信」を発行しました。4月10日に新聞折込をしましたが、お目に止まりましたか？今回、同封させていただきます。

2013年は、夏の都議会と参議院の選挙の関係で、区議会は第2回定例会の日程を繰り上げることが決まりました。そんなとき、青天の霹靂のごとく宮崎区議会議長の辞任、自民党離党、日本維新の会からの都議選出馬の話がもちあがり、区議会が騒然とする中、4月23日には区民クラブと新風会が新会派「改革ぶんきょう」を結成しました。積年の課題だった議会の活性化がようやく端緒につき、議長選挙の透明化や通年議会を実現しようとしていた矢先のことでしたが、最大会派が同数で2つになり、長期欠席の自民党の武澤議員の動向次第では議長選挙のゆくえもわからなくなってきました。

通年議会 今年度は試行として、定例会のない4、7、8月に文教、厚生、建設、総務区民の常任委員会のみが開かれることとなり、4月26日に第1回の委員会が開かれました。1日のうちに午前中2委員会、午後2委員会の忙しい並行開催で、議員が互いの委員会を傍聴できない、報告事項1~2件に限られる、資料が2日前まで配布されない、一般質問はなし、など既に課題が明らかになっていますが、試行段階での課題を解決し来年度の本格実施ができるよう、まずはスタートしました。

通年議会の意義は、年4回の定例会で議案や請願など議決事項をじっくり議論する時間をつくるため、また年4回では間があきすぎて急を要する事案は区長の専決事項となり、議会のチェック機能が果たせないから、ということのようです。しかし最も求められる議会改革は、区長提案を無修正で全部通してしまう「区長与党」が多数派として厳然とあること、議長・副議長・常任委員会委員長などのポストを「与党」が数の論理で握っていることの解消、そして何より区民への公開ですが、それは手つかずです。

予算に賛成することを前提としながら改革をかけるって？ 区民クラブと新風会

は多少歴史認識や政策の違いがあるようですが、それは問わず、区長提案の予算案に賛成する条件をクリアすればよいということらしく、だとすると、与党最大会派になるために数合わせをしたとも受け取れます。今回、「次の議長選挙では立候補者はきちんと所信表明をし、自主投票による選挙をすること」とほぼ合意ができていて、「改革ぶんきょう」は議長選挙をまず改革すると言ってはいますが、区長に賛成の前提でよせ集めた最大会派がすり合わせた人が立候補し選挙をするなら、所信表明をしても自主投票にしても結果はまったく以前と変わらないでしょう。議長選挙は第2回定例会の冒頭に、副議長選挙は最終日に（会期末は6月13日）おこなわれるとのことなので、注目しています。